

神納・神納東・西神納地域まちづくり協議会
まちづくり新聞
合同防災研修会特集号

発行：神納地域まちづくり協議会、神納東地域まちづくり協議会、西神納地域まちづくり協議会

8月3日豪雨災害による被害に遭われた地域の皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます

8月3日の豪雨により市内各地で多くの被害が確認されました。神林地区の各まちづくり協議会も8月20日、21日に災害支援ボランティアに参加をしてまいりました。この度の災害に対し、心からお見舞い申し上げますとともに被害に遭われた地域の皆さまの一日も早い復興をお祈り致します。



令和4年6月26日（日）神林中学校体育館

令和4年6月26日（日）午前9時～12時「神納・神納東・西神納地域まちづくり協議会合同防災研修会」を神林中学校体育館を会場に実施し、3地域27集落の合計137名が参加しました。

事業実施の目的は、まちづくり協議会事業目的の一つでもある「安全および安心に関すること」の防災意識向上を目指し、近年自然災害が頻発している状況の中で、大規模災害時に円滑な避難所運営ができる体制作りとして、地域住民の指定避難所である神林中学校で3地域の交流を含む合同防災研修会を行いました。

本研修会は村上市防災士会に指導をいただき地域防災士と集落住民が一緒になって取り組み見識を深めました。研修会の講師には公益社団法人中越防災安全推進機構地域防災力センターの河内毅氏をお招きして「避難所運営について」の講義や「避難所で起こり得る課題への対応」としてクロスロードを行いました。最後の避難所設営訓練では、本市の高橋防災専門員の指示により役割分担を行い、実際に使用する資材を使い本番さながらの訓練を実施しました。今回の研修会（訓練）の実施にあたっては、「失敗から学びますはやってみることを基本として実施しました。」



講義・ワークショップ 講師
中越防災安全推進機構
地域防災力センター
河内 毅 氏

③ふりかえり

「気づいたこと、大切だと思ったこと」

- ・指示、段取り等を行うリーダーが必要
- ・行政にまかせるのではなく、自分たちでできる事をする
- ・要介護者の把握をしておく事
- ・集落内で防災のリーダーを育てていく必要があると感じた
- ・組織づくり、役割分担が大切
- ・避難所と指定する場所は予めレイアウトを決めておいたほうがよい

「今後やろうと思うこと」

- ・集落内の役割分担を決めておく
- ・集落でも今日のような訓練をしたり話し合いの場を集落で設け、知恵を広めていくこと
- ・行政→地域責任者→個人に的確に指示が伝わるよう改めて訓練を行う
- ・消耗品の点検及び購入



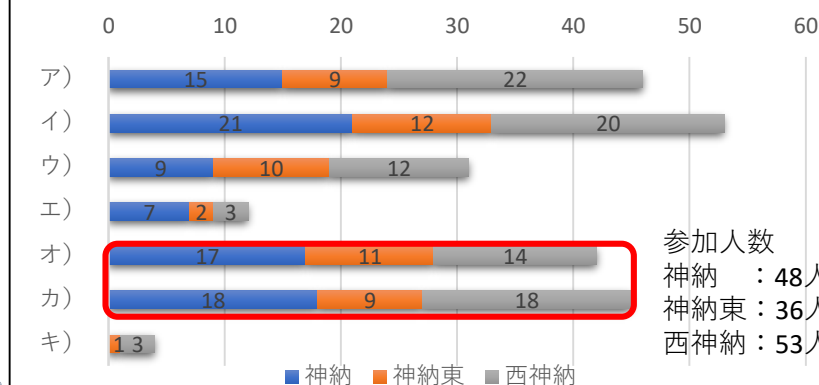
防災の取り組みについて研修会参加者に聞きました

Q まちづくり協議会で「安全、安心な取組」を行う場合、どのような取組をした方がよいと思いますか？（複数回答）※当日配布アンケート抜粋

- ア) 集落の役員等を対象とした研修会
- イ) 一般住民（高齢者、若年層、女性等）を対象とした研修会
- ウ) 合同避難訓練
- エ) 先進地への視察研修
- オ) 集落単位での研修会
- カ) 防災備品等の整備
- キ) その他

研修会開催の他、防災備品の整備を挙げられた方が多くいました

今後の取り組みについて



■ 研修後のご意見・要望

- ・防災を考える良い機会になりました。
- ・避難所での様子、対応などのお話を詳しく知る事ができ大変良かったと思います。
- ・勉強になったが現実的でない所もあるので実際に必要となった場合の不安が残る。訓練して満足ではいけないと思う。
- ・きめ細かい準備が必要と思う。



※村上市のホームページで「市民協働のまちづくり」を紹介しています。是非ご覧ください

■ ご意見・ご感想・問い合わせ

- ◆村上市神林支所 地域振興課自治振興室 担当： 鴻島、大滝
- ◆電話・告知端末 66-6122
- ◆E-mail k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
- ◆URL http://www.city.murakami.lg.jp/

編集後記

研修会後1か月あまりで豪雨災害が起こり、神納3地域の皆さまにおかれましても断水など苦労されたことと思います。水の備蓄など日頃からの備えが重要だと感じました。事務局としても避難所の設営について研修会で更に知識を深めることができました。市、地域、集落さまざまな団体で防災について研修や訓練を行い知識を深めることが自分の命や家族の命を守ることにつながります。まちづくり協議会では今後も防災を含めた「安全および安心に関すること」について力を入れて参ります。

3. 避難所設営訓練

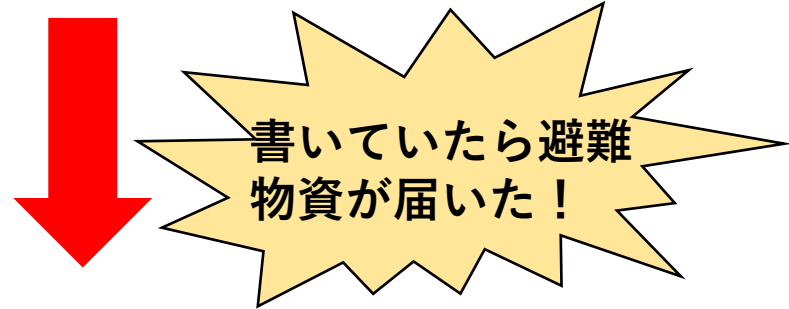
実際に避難所の設営を市職員と連携して実施！
自分たちの住みやすい環境をつくることにも繋がる。

① 避難者名簿の作成

避難所に避難したら全世帯が必ず書くものです。訓練想定として研修会参加者が避難をした人に見立て自分で実際に書いてみる!!



避難所設営訓練 講師
村上市防災専門員
高橋 亨氏



② 避難所設営作業

27集落を5つの班に編成し、講師の指示でそれぞれ避難所設営作業へ



(1) 食糧・物資の荷下ろし 作業及び分配



(2) 要配慮者スペースの設置 作業及び分配



(3) トイレ用水・手洗い場・簡易トイレの設置



(4) 注意事項等の貼り出し



(5) ロールマット引き及び 集落毎の区画表示



訓練終了!!

今回の訓練は地震を想定して避難所に物資が何もない状態から訓練がスタートしました。市職員の事前の準備・早急な対応が必要になりますが、実際に災害が起こると避難所に市職員を大勢配置するのは難しい状況になります。市職員と住民の皆さんが協力して避難所の設営・運営を行っていくことが非常に重要になります。

研修会内容

1. 講義「避難所運営について」

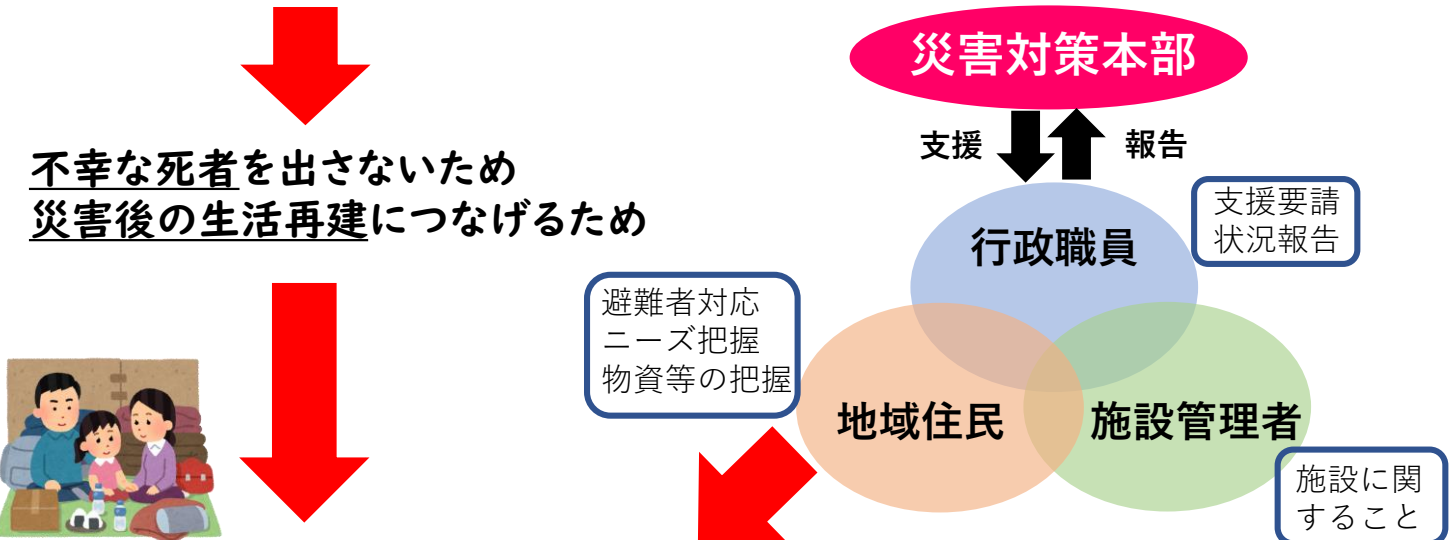
講義の目的

災害時に開設される避難所では、どのような課題が発生するのかを知っていただくと共に、地域主体の避難所運営の必要性を理解する。



○なぜ避難所運営が必要なのか?

○誰が避難所を運営するのか?



自分たちの生活する場所だからこそ
自分たちで住みやすい環境を作る
＝避難所運営の基本



2. クロスロード「避難所で起こり得る課題の対応」

避難所で起こる課題への対応はその時の状況や内容によってケースバイケース。だからこそ、基礎や知識を身に付けて適切な対応ができるようにすることが大切です。講師の設問に対し自分ならどうするかを一人ひとりが考えました。

○避難所の受付に、親せきが避難してきていないかと尋ねてきた人がいます。避難所の中に入れて探してもらいますか?
⇒避難所に入れる
⇒避難所に入れない

色々なケースがあるから、一人で悩まず、話し合いやルールが必要だね

○外から避難所に食事を取りに来た人がいました。しかし、食事は避難所にいる人数分しかありません。食事を渡しますか?
⇒渡す
⇒渡さない



他にも様々な課題について検討しました。皆さんも自分ならどうするか考えてみてください。